



## 学校だよりNo.24

令和2年9月3日(木)  
泉崎村立泉崎中学校

# 白 華

発行責任者 校長 桑原透

### 泉崎中スローガン

- 1 明るく元気なあいさつ
- 2 健康・安全
- 3 「自他共栄」
- 4 「一歩改革」

### 目指す学校像

- 1 安全で安心して生活できる学校
- 2 生徒・教師が楽しめて「今日も来てよかったなあ」と思える学校
- 3 生徒が主体となって活動し、明るく活気のある学校
- 4 学校・保護者・地域が連携し、共に成長していく学校
- 5 保護者や地域から信頼される学校

## 東西しらかわ英語弁論大会

8月26日(水)に東西しらかわ英語弁論大会が行われました。今年は県大会以上が中止となっていますが、東西しらかわ英語部会の先生方の努力により、感染症対策などの工夫をして、何とか実施することが出来ました。その結果、暗唱の部では2年の半澤くんが2年連続の優勝、1年の秋くんが8位入賞、創作の部では3年の駒橋くんが6位に入賞しました。出場者全員が入賞したのは泉崎中学校だけだったそうです。素晴らしいですね。

### 「英語弁論大会に参加して」

#### 1年2組 秋くん

入学して初めての弁論大会でした。夏休みも入賞しようと頑張ってきました。今年、一年生で8位入賞を頂いてとてもうれしかったです。来年も参加して、さらなる高みを目指してはりきっていきます。次は練習法を変え、チャレンジしたいです。

#### 2年2組 半澤くん

僕はこのコロナ禍でも発表の場があったこと、とてもうれしかったです。そして教えて下さった先生、ALTの先生方への感謝を忘れません。来年もぜひ挑戦してがんばっていきたいです。

#### 3年1組 駒橋くん

僕は英語弁論大会で入賞することが出来て、とても嬉しく思っています。今回は楽しくやるということを決め、発音やイントネーションを意識しながら自分が伝えることを相手にどう伝えるかに注目しました。結果、ジェスチャーや表情、声のトーンなどを意識しながら自分の伝えたいことをしっかり伝えることが出来ました。これだけで僕は十分満足していましたが、入賞することもでき、大満足です。遠藤先生、ハナ先生、クリスティーナ先生、ご指導ありがとうございました。

## JOC 全国中学生陸上競技大会福島県予選会に参加して

本校から3年草野翼くんと石井裕人くんが参加し、見事入賞しました。この大会は、事前に行われた通信陸上大会県大会の上位の生徒が参加できる大会です。草野くんはその大会でも8位に入賞していました。

#### 3年 石井くん

自分は、ジュニアオリンピックに参加して、7位をとれたといううれしさもありますが、何よりもうれしいのが、翼くんと二人で賞状をもらえたことです。皆と楽しく練習ができ、練習の成果を最大に出せてよかったです。これからは駅伝や長距離のシーズンになります。自分達と一緒に走りたい！と思っていたら、一緒にチームとして走ってみませんか？

#### 3年 草野くん

自分は今までの大会で10mをこす記録がなく、今回の大会が最後なので10mをこえたいと思いました。今までは力んで力が入りすぎたことと思うように飛ばなかったので、力まないように投げた結果、10mをこすことができました。中学生としては最後の投てきの大会ですが、高校に行っても砲丸投げをしたいと思っています。

## 【新型コロナウイルス感染症症状の相談について】

次の症状がある方は、病院を受診する前に、まずは「帰国者・接触者相談センター」（0120・567・747 （24時間））にご相談ください。特に新人戦2週間前（9月10日）以降で新人戦に参加する予定の生徒については、比較的軽い症状が1日でもあった場合は必ず相談してください。そうしないことにより、新人戦に参加できなくなる可能性があります。

- ・息苦しさ（呼吸困難）・強いだるさ（倦怠感）・高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ・重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- ・上位以外の方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合（解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様）

\* 症状が4日以上続く場合は必ず相談

\* 症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合はすぐに相談

### 特集! 「やってはいけない“脳の習慣”」 はじめに

これから掲載するものは、東北大学加齢医学研究所の川島氏と横田氏の著書「やってはいけない脳の習慣」～小中学生7万人の実証データによる衝撃レポート～の抜粋で、仙台市の小中学生7万人のデータを分析した結果から見えてきたものです。

みなさんは「スマホを1時間使うごとに、算数・数学のテストの点数が5点下がる」と聞いたらどう思われますか？

子どもたちにスマホを持たせることのリスク（危険性）については、スマホを通して自由にインターネット空間を泳ぎ回った結果、悪意を持った大人の餌食になり、ひどい場合には犯罪に巻き込まれてしまうなど、犯罪抑止の文脈で語られることがほとんどです。しかし、私たちが仙台市と共同プロジェクトで見つけてしまったものは、もっと身近なところで、ほとんどの子どもたちにとって、スマホを使うと学力が低下するというリスクが存在するという事実でした。

私たちは仙台市教育委員会が毎年度4月に行う「標準学力調査」に合わせて、生活習慣アンケートの中に学習意欲に関する項目をいれ、全ての仙台市立小学校・中学校の児童生徒、約7万人のデータを分析してきました。

私は正直に言って、データを見て絶句し、自分の子どもたちにスマホを与えたことを大いに後悔し、たとえたくさん大人の敵に回すことになったとしても、このまま見過ごすわけにはいかないという強い思いに駆られました。7万人×7年間の調査結果が何を物語っているのか、皆さんご自身の目で確認してください。 次号につづく・・・

